

教科名	音楽	学年	1 学年
-----	----	----	------

目 標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 2 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 3 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。 ※目標はさらに 1 段階と 2 段階で構成されている。
学年の目標	表現及び鑑賞の活動を通して、音楽活動への興味・関心をもつとともに、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。

月	時 数	単元名 題材名	単元目標 (観点別の目標)	学習内容	評価の観点 (生徒の達成度を A～D の 4 段階で総合評価)
4 5 6	7	A 表現 歌唱 B 鑑賞 「式歌」 校歌 国歌 「日本の歌」 共通教材	【知識及び技能】 ・歌詞の意味を理解して歌うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音楽記号や強弱を意識して歌うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鑑賞において、自身の意見を述べることができる。	1 校歌 国歌 日本の歌【高等部 1 段階】 (1)歌詞の意味の理解について。 (2)発声、発音などの姿勢について。 2 鑑賞【高等部 1 段階】 (1)曲や演奏のよさなどについて考えることについて。 (2)音楽の特徴について考えることについて。 【国語：文章解読】	【知識・技能】 1 段階：歌詞の意味を読み取り、理解することができる。 2 段階：発声、発音などを意識しながら歌うことができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：音楽記号や強弱を読み取ることができる。 2 段階：音楽記号や強弱、読み取った内容など表現することができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：曲を聴き、自分の感想をもつことができる。 2 段階：他者の感想を尊重し、受け入れることができる。
					評価方法：実技、レポート提出、出席
6 7 8	6	A 表現 身体表現 B 鑑賞 手話付きの 歌唱曲	【知識及び技能】 ・手話の意味を理解して使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・手話の役割を考えながら表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鑑賞において、自身の意見を述べることができる。	1 身体表現（手話）【高等部 1 段階】 (1)歌詞の意味の理解について。 (2)曲想に合わせた手話の動きについて。 2 鑑賞【高等部 1 段階】 (1)曲や演奏のよさなどについて考えることについて。 (2)音楽の特徴について考えることについて。 【総合的な学習：手話】	【知識・技能】 1 段階：手話の意味を理解することができる。 2 段階：手話の意味を理解しながら使うことができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：歌唱とともに手話で表現することができる。 2 段階：手話を用いることで視覚的な意味をもたせることを理解し表現することができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：曲を聴き、自分の感想をもつことができる。 2 段階：他者の感想を尊重し、受け入れることができる。
					評価方法：実技、レポート提出、出席
9 10 11 12	15	A 表現 器楽・創作 B 鑑賞 「器楽」 各種楽器演奏 「創作」 楽典 「鑑賞」 DVD 鑑賞 ミュージカル 映画など	【知識及び技能】 ・楽器、楽譜の使い方を理解することができる。 ・音楽を形成する音符や休符、音楽記号等の意味について理解することができる。 ・曲の歴史や背景を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・他者の演奏を聴きながら演奏することができる。 ・音楽記号や曲想を考えて表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鑑賞において、自身の意見を述べ、他者の意見も受け入れながら交流することができる。	1 器楽【高等部 1 段階】 (1)楽器の音色や響きを感じた演奏について。 (2)正しい楽器の奏法について。 2 創作【高等部 1 段階】 (1)創作表現に必要な知識や技能を得ることについて。 (2)創作表現に必要な知識や技能を使った創作について。 3 鑑賞【高等部 1 段階】 (1)曲や演奏のよさなどを考えることについて。 (2)曲の歴史や背景を知ることについて。 【社会：世界の歴史、文化】	【知識・技能】 1 段階：楽譜を読むことができる。創作の手順を理解することができる。曲の歴史や背景について理解することができる。 2 段階：楽譜を読みながら正しく楽器を使い演奏することができる。創作の手順に則って曲をつくることができる。曲の背景を知ることによって様々な表現方法を知ることができるようにする。
					【思考・判断・表現】 1 段階：他者の演奏を聴くことができる。音楽記号や強弱の変化など曲想の変化を読み取ることができる。音の選択、組み合わせを考えることができる。 2 段階：他者の演奏を聴きながら自分の音を聴き、合わせて演奏することができる。音楽記号や強弱の変化など曲想の変化を意識しながら表現することができる。音の選択、組み合わせを考え、旋律を形づくることができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：曲を聴き、自分の感想をもつことができる。 2 段階：他者の感想を尊重し、受け入れることができる。
					評価方法：実技、レポート提出、出席

1 2 3	7	A 表現 歌唱・器楽 身体表現	【知識及び技能】 ・歌い方や楽器の使い方を理解して演奏することができる。	1 歌唱【高等部 1 段階】 (1)他の声部の音を聴いた合わせ方について。 (2)発声、発音などの姿勢について。	【知識・技能】 1 段階：歌唱の正しい姿勢、楽器の正しい使い方を理解することができる。
		B 鑑賞 「発表会」	【思考力、判断力、表現力等】 ・他者の演奏を聴きながら演奏することができる。	2 器楽【高等部 1 段階】 (1)他の声部の音を聴いた合わせ方について。 (2)正しい楽器の奏法について。	2 段階：正しい姿勢で歌唱し、正しい使い方で楽器を演奏することができる。
		今年度まとめ 他学年の発表 の映像鑑賞	・音楽記号や曲想を考えて、表現することができる。	2 鑑賞【高等部 1 段階】 (1)曲や演奏のよさなどを考えることについて。 (2)音楽の特徴を考えることについて。	【思考・判断・表現】 1 段階：他者の演奏を聴くことができる。 2 段階：他者の演奏を聴きながら自分の音を聴き、合わせて演奏することができる。
		「式歌」 校歌 国歌	【学びに向かう力、人間性等】 ・鑑賞において、自身の意見を述べ、他者の意見も受け入れながら交流することができる。	【行事：卒業式】	【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：曲を聴き、自分の感想をもつことができる。 2 段階：他者の感想を尊重し、受け入れることができる。
					評価方法：実技、レポート提出、出席